

第3回都市公園指定管理者選定委員会概要

日 時 平成30年11月6日(火) 午後1時30分から午後4時30分
場 所 鎌倉市役所 402 会議室
出席者 委員：橘委員長、入江副委員長、長坂委員、加藤委員、飯田委員
事務局 樋田都市整備部長、関都市整備部次長、田沼課長、齋藤課長補佐、北村職員、
小松田職員

都市整備部公園課長より全ての委員が出席しており、本日の委員会が規則第6条第2項を満たすことから、本日の委員会が成立している旨を報告し、議事に入りました。

委員長： 只今より第3回鎌倉市都市公園指定管理者選定委員会を開催します。
お手元の会議次第に基づき進めたいと思いますがよろしいでしょうか。

各委員： …………… 異議なし ……………

委員長： それでは、第1回選定委員会の議事録概要の確認について事務局より説明をお願いします。

事務局： 議事録概要につきましては、事前に事務局より各委員に送付いたしまして、訂正箇所等、御意見はありませんでした。

委員長： 議事録概要につきましては、各委員に事前にご確認をいただけたということによりよろしいでしょうか。

各委員： …………… 異議なし ……………

委員長： それでは、各委員の了承が得られましたので、議事録概要については、ご確認いただいたということで、(案)をとっていただき確定とさせていただきます、先に進めさせていただきます。
つづきまして、ヒアリングの進め方の確認をしたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。

事務局： 説明

委員長： 事務局からの説明で何か御質問または御意見がありましたらお願いします。
質問があれば、事務局で回答します。
質問はないようですので、それでは、これより笛田公園指定管理者に応募された団体のヒアリングを行います。

応募者： 提案説明。

委員長： ありがとうございます。それでは、質疑応答に移りたいと思いますのでよろしくをお願いします。只今の提案内容の説明等についてご質問がありましたらお願いします。

A 委員： 最近聞いた話で、野球場のグラウンドがでこぼこだということを知ったのですが、普段、整備はどのようにされていますか。

応募者： 大きな作業につきましては、毎週月曜日の休業日にグラウンド、芝生、観戦席等を含め、きちんと整備を行っています。使用頻度によりませんが、週末の使用頻度は高く、夏ですと夕方まで使用しており、翌日の早朝野球に多少影響してしまうことはあるのかもしれませんが。

A 委員： そういうところを見られているのかもしれませんがね。先日、私が現地視察に行った時は、そんなことなかったものですから。

それと周囲の道路なのですが、道路管理なので注意するのは困難だとは思いますが、多目的広場の前あたりに何台か車が止められるスペースがあり、先日、私も相談されたのですが、下にも駐車場がありますし、受付等で指導や注意をして欲しいと思うのですが、いかかでしょうか。

応募者： 気づいた時には注意させていただいております。一番多いのは、多目的広場は 24 時間使えますので、下の駐車場を閉めたあとに駐車される方が多いと思います。

A 委員： 先日は、昼間も停車していたので、そのへんを含めて指導していただければと思います。

B 委員： 第 4 期を向かえるにあたり、新しい提案というのは、先ほどのテニス講座、車いすテニス、手作りパン等と理解してよいのでしょうか。新たに今回、提案したいというところをもう一度、教えていただけますか。

応募者： まず、自主事業としましては、テニスの試合として男子の大会、ジュニアの大会などを加えていきたい。もうひとつ大きなところでは、車いすテニスの普及に努めていきたい。もうひとつ、利用促進については、現在、ヨガ教室やウォーキング教室、苔玉作り教室などを行っていますが、違う切り口として大手スポーツクラブのノウハウを使った、具体的にはシナップソルジャーで脳の活性化などを行う教室も開催していきたいと考えています。

B 委員： 会社の理念で子育てから福祉、福利厚生事業もやられている。そういう点から、先ほどの車いすテニスなどの提案は望ましいと思っていますが、一方笛田公園の施設、ユニバーサル視点から入口が階段、トイレが和式なので、洋式か多目的かそのへんのところまでの検討をされているのか、次期に関しては可能性まで含めて、どんなことを考えられているのでしょうか。

応募者： トイレに関しましては、多目的広場にはあるのですが、洋式化の要望も多いので鎌倉市と話し合っ進めていきたいと考えています。車いすテニスは、テニスコートの脇の入口のところは平らで、何台か車も止められることから、そこからスタッフがお手伝いしながら、開催していきたいと考えています。

B 委員： テニスコートの脇のトイレが改善されれば、利用促進にも繋がると思います。

C 委員： 私も先日、現地視察した時に、トイレのことは B 委員と同じことを感じましたので、意見を添えておきます。

D 委員： 私は、今回の指定管理委員を引き受けるにあたり、いろいろと調査をしましたが、
 笛田公園の評判は良かったと感じています。違う市の公園に関しても指定管理の関
 係で施設を見ていますが、鎌倉市は丁寧に施設管理されていると思います。それは
 限られた指定管理料で、いろいろなコストのバランス感覚が優れているからだと思
 っています。限られた収入の中でのコストパフォーマンスをどのように考えられて
 いるのか、教えていただきたい。

応募者： コストにつきましては、大きなところは人件費なので、本来、外注するような作
 業も出来る限り内作化を行い、経験豊かな人材から技術の継承を行い、できるだけ
 支出を抑えながら、事故にならないようきめ細かい修繕を行うことも経費の縮減に
 繋がると考えています。

A 委員： これは市との関係にもなるのだと思いますが、庭球場は、雨が降ったあとの回復
 が悪いので、これを何か、新たなコート整備も含めて考えていただけているのか。
 古い施設ですので、以前からの地域との関係もあると思いますが、当時とは状況も
 変化したと思いますので、夜間照明などを付けて2時間ぐらい稼働時間を延長する
 ことなどもよいのではないのかと思うのですが、いかがですか。

応募者： オムニコート整備につきましては、市と話し合いながらという形になるかと思
 います。

委員長： テニスコート、トイレなど施設の要望とかニーズを管理者の方にしっかりと伝え
 ていくというのも指定管理者の仕事で、それを実現できるかどうかというのは別の
 判断になるかとは思いますが。

内作化、効率化の話で、質的な確保をどのようにされているか。もうひとつ、企
 画提案ですが、年間利用者数、施設の利用者数、利用回数がこれまでどういう傾向
 で、今後、それをどういう目標で設定しているのか、提案書には特に具体的な数字
 がなかったので、全体的な目標のようなものがあれば教えていただきたい。

応募者： 内作化につきましては、前回の5年では130件の修繕等を行ってきました。この
 5年では251件の修繕などに対して15件、95%の内作率になっています。費用は
 変わらないように見えても、前回の倍の修繕を行っています。

委員長： そのための技術的な担保、資格とかはどのようにされていますか。

応募者： 我が社は、いろいろな事業を手掛けておりまして、清掃、緑化、不動産、修繕関
 係といったものの研修につきましては、スタッフへ年数回施すことで技術の担保は
 図れており、内作化、修繕の質に努めています。

委員長： 社として、その他のことも含めて行っているということですね。

応募者： そのとおりです。

委員長： 人数的なところはいかがですか。

応募者： 施設の利用者数、野球場、テニスコート、多目的広場は毎月把握して市へ報告し
 ています。当然、利用者数が向上していくことが、良い公園管理となると考えてい

ますが一方で、天候に左右される屋外の施設で、なかなか思うように数字が上がらないのも事実です。

委員長： 広報して、多くの方に来ていただいていることをひとつの目安として、数だけが多ければよいということではなく、ひとつの効果として PDCA サイクルのチェックのところで確認して欲しいとは思いますが。その点は、また考えて頂ければと思います。

それでは、1 者の持ち時間である 20 分が経過しましたので、質疑応答を終了します、お疲れ様でした。

続きまして、笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者に応募された団体の提案説明及び質疑応答を行います。

…………… 団体入れ替え ……………

応募者： 提案説明。

委員長： ありがとうございます。それでは、質疑応答に移りたいと思いますのでよろしくをお願いします。只今の提案内容の説明等についてご質問がありましたらお願いします。

D 委員： 指定管理の中でも都市公園法の公園を管理していくのは難しく、全国的にはまだそう多くはないと思いますが、鎌倉市では街区公園を含めた指定管理ということで、先駆的なところがありますが、限られた指定管理料で継続してきたキャリアを含めて、効果的で効率的な運営のノウハウのようなものがあれば教えていただきたい。

応募者： 限られた指定管理料の中で、市で示されている水準はきちんと守っていかなければなりません。経費の節減につきましては、広い公園を管理していくには、直営のスタッフ管理、事業者さんによる作業、これを使い分けていかなければいけないという中で、そのすみわけをきちんとしていく判断を的確にしていくことによって経費の節減を行っています。そこを基本として、効率性というのは求められますので、スタッフの中で周囲の声も含めまして対応している状況であります。

B 委員： 200 以上の公園を管理するというので、先ほどのプレゼンテーションを聞いていなくても、日常的な利用促進は、イベントや子ども向け企画を行っていくということでしたが、一方で海外の方も多く訪れることから、ピクトグラムですとか案内表示を増やしていくというプレゼンがありました。現在はスマートフォンを使用して楽しんでいることも想像されるのですが、そういったことへの対応は、どのようにお考えか、何かありましたら、具体的には QR コードで読み取り、ホームページにリンクするとか、英語のホームページが充実しているとか、お聞かせ願いたい。

応募者： 現在、ホームページでは外国語 8 カ国語で対応しており、この先は SNS の系統に広げていきたい。ホームページからですと、うちの方で発行している各公園を対象としている「てくてく日和」という冊子が掲載されており、そこを開くと案内図などが掲載されている状況になっています。

B 委員： 今のことと関連してくると思いますが、昨今、自然災害が多い中で公園が避難場所になったり、災害時に役立つことは事例から経験してきておりますが、災害時における公

園への避難訓練等、今後の運営の中でどのようにお考えか、避難訓練の場合、海外の方への対応も含めて、何かお考えがあるのかお聞かせ願いたい。

応募者： 災害発生時につきましては、災害時対応マニュアルに基づき、職員が初動することになっております。今、ご指摘の外国人の対応につきましては、外国語を話せるスタッフがいるのかどうかを含めて、そこまでは整備されていませんが、このマニュアルに基づいて本部を設置し、本部長以下指揮命令系統を明確にしています。東日本大震災の時は、市から指示を仰ぎ、事例としては、一旦閉園し、園内の安全を確認したうえで開園するという対応をしました。外国人に対しては、これまで経験がありませんので、今後の対応となります。

B委員： 避難訓練を公園で自主的に行った事例はありますか。

応募者： 来園者も含めた避難訓練を毎年一回、実施しています。

A委員： 中央公園には、私も中々行けないのですが、来園者数は確認されていますか。

応募者： 中央公園の年間の来園者数は、年間約 20 万人です。

A委員： イベントを開催している時は、人が多い印象ですが、普段でも中央公園にはもう少し人が来てもよいのではないかと思います。イベントを沢山やられていることはよいと思いますが、子どもたちが自然の遊びで、あそこの公園に行ったらおもしろいよというような部分があってもよいのではないかと。そういうところをもう少し考えていただいたらよいのではないかと思います。自然に調和した遊具もあってもよいのではないのでしょうか。

C委員： 私もいろいろと公園を見ておりますが、今はバスなどで行けますが、アクセスが悪い中央公園には、近隣の方はいらっしゃいますが、離れている方がさっと行けないので人が少ないと感じます。若い人が見つけた何々スポットのような話題があれば、人も集まるように思います。夫婦池公園、散在ガ池公園等は、季節的には集まるとは思いますが、それ以外の季節は閑散としていることを感じます。

委員長： かつての平方メートル当たりの管理費単価と比較しても、指定管理料が厳しくなっている中で、努力されているのはよく分かります。平成 27 年、28 年、29 年の収益が自動販売機、駐車場とかあるのですが、若干下がり気味かなと思いますが、その辺をどのようにお考えになれているのか。また、自主事業をもう少し頑張ってみようかという企画とか提案があればお聞かせ願いたい。

応募者： 収益事業ですが、駐車場につきましては天候の関係がかなり影響しますので、効率的に止められるように工夫していますが、天候面が大きかったと考えております。自主事業ですが団体としてどのように取り組んでいくのか、公園の利用促進に繋がることでもありますので、今回は、新たに「ふらっとフェア」というようなものを企画し、産業の活性化と公園利用という二つの要素で進めていきたいと考えていますが、単純に自主事業で収益をあげる事業をどう企画していくか、例えば他市ですと、公園内でコンサートを開催したりして収益を得ています。しかしながら、鎌倉の公園ですと公園のできた背景があり、中々、こうしたイベントを企画できないという状況もありますので、私共としても企画に苦慮しているところもあります。今後は、さらにこのへの仕組みをどのようにしていくのか、他市を参考

にしながら、集客に繋げ、収益にも結び付けていけるような事業を考えていきたい
と思います。

委員長： もう一点、施設は年数が経っていることもあると思いますが、傾斜地とかで被害、
災害があった場合も自社で対応できるところは対応するというご提案ですが、やれ
る部分とやれない部分があると思いますが、市との連携はどのように考えられてい
ますか。

応募者： 基本的には、業務分担は、50万円以下の修繕は指定管理者が対応する形となっ
ております。最近、自然災害が多く、そのへんは、50万円にとらわれず市と協議しな
がら対応にあたっていきたいと考えております。

委員長： 公園管理システムの台帳フローを示していただいておりますが、あれは独自にお
持ちなのですか。

応募者： 公園台帳を基に作成したものです。

委員長： 自社で整備されたものですか。

応募者： エクセルで、台帳にリンクする形で作りました。

委員長： それを更新しているということでしょうか。

応募者： そのとおりです。

委員長： それでは、1者の持ち時間である20分が経過しましたので、質疑応答を終了し
ます、お疲れ様でした。

続きまして、鎌倉広町緑地の指定管理者に応募された団体の提案説明及び質疑
応答を行います。

…………… 団体入れ替え ……………

応募者： 提案説明。

委員長： ありがとうございます。それでは、質疑応答に移りたいと思いますのでよろし
くお願いします。只今の提案内容の説明等についてご質問がありましたらお願いし
ます。

D委員： 広町緑地は緑地保存がされており素晴らしいところで、先駆的な取り組みがされ
てきたエリアだと感じており、多くの市民や市民団体を交えて管理をしています。
ボランティアは無償ですが、限られた指定管理料の中で、どのような対応をされて
いるのかお聞きしたい。

応募者： ボランティアに関しては、私共と年度協定を締結しております。協定に基づいて
行うイベント費や消耗品などを予算化し報償費として管理しており、事業を行うう
えでの予算ですから、ボランティアは無償で行っていただいております。また、共
同事業体で実施する活動についても事業費としての支出となります。

B委員： 神戸川の源流域であることから、流域圏でみどりの基本計画を作り、流域圏ネットワークの中でもグリーンインフラとしてポテンシャルが高い広町緑地であると思うのですが、そのため自主的に、ボランティアの方の力も借りながら、自然環境のモニタリングを進められており、このSDGsの取組の中のバイオマスネットワークなどで、例えば、高校生や大学等の研究機関と連携されていると思います。先ほど話題が出た落ち葉の量ですとか、刈草の量ですとか、田んぼの面積当たりどれくらいの量になるのか、森林面積に対してどれくらい落ち葉の量があるのか、そのへんの量的な試算、バイオマス量をすでに調査されているのか。もしくは、今後やられる予定はあるのかお聞きしたい。

応募者： バイオマス量に関しましては、まだまだ勉強段階で、確実な量は把握しておりません。鎌倉のように雨量があり温暖でありますので、森林に関しましては年1%から2%ぐらいはバイオマスが増えるというような事例は承知しているところです。枯れ葉等を活かすための堆肥作りですが、これにはかなりのマンパワーが必要なため、ボランティアだけでは対応できないだろうという話になっており、イベント化して、多くの方の協力を得るようなことも考えていきたいと思っています。

B委員： これは、アドバイスのものになりますが、どれくらいの人数で、どれくらいの量が集められたというようなデータを蓄積、記録されていくことが大切だと思います。自然環境モニタリング調査の中で、報告書の中に、そのようなことも含めて、今後できるのであれば、今後の活動の中で人数や量を把握していただきたい。

応募者： 今後は、そのようにしていきたい。

A委員： 私も今回初めて、入口を見せていただき、管理の内容は現状を維持していくことというのは理解できるのですが、なんらかの形で市民に見ていただくため、中央公園もそうですが、何か自然を活かした形で、近所の方以外にも来園してもらえるようにならないのかなというのが私の思いです。駐車場がないことや自動販売機もない中で大変だとは思いますが、頑張ってください。

応募者： 過去2年間の管理で、年間24,000人の来園者があり、イベントがある時には来園者が増えることは把握しております。交通のアクセスとして一番近い西鎌倉の駅からの案内板が足りないことも理解しているので、そのへんは何とか対応していきたいと考えています。自動販売機については、来園者のために考えてはありましたが、昨今、鎌倉プラゼロ宣言などがありましたので、新たに自動販売機の導入もどうかということになっております。しかしながら、マイボトルを持たれている来園者の方に対して、お水を入れてあげるサービスなどはあってもよいのではないかと考えているところではあります。

委員長： 植物管理、樹木管理で、鎌倉造園界と協力とありましたが、これは業務を委託するのは違うのでしょうか。何か協力をしていただいているというスタンスなのでしょう。また、地域理解ということで、鎌倉広町緑地懇話会を作られて、地域と話をされているということですが、これまでに、その場から出された意見にどのような対応をされているのか、事例があれば教えていただきたい。最後に年間24,000人の来園者だということでしたが、将来的にあの広い緑地を知っていただく、理解していただくということで、例えば、利用者は年間どれくらい来てもらった方がよいのか、これから5年間でどれくらいの目標を持たれているのか、イメージされているのかをお聞きしたい。

応募者： 造園界につきましては、今年台風も多く、倒木も多かったのですが、普通に対応すると処理までに時間がかかってしまいますが緊急に対応してもらうことや、自分たちで維持管理していくうえで、職人としての技術の伝承、講習会のようなものも協力関係で行っていただいています。懇話会につきましては、公園利用に関すること、自動販売機を設置して欲しい、もっとベンチを増やして欲しい等の要望があり、対応可能なことは対応してまいりました。利用者数の件に関してですが、イベントに関しましては、多くの方にお越しいただきたいとの思いで企画しておりますが、ホテルの季節などは宣伝をしなくても、多くの方が来られて、道のすれ違いも困難な状況で、ボランティアの方が入り口や混んでいる場所での対応をしたり、トイレが使えるように管理棟を延長して開けたりしています。通常の公園利用でしたら、もっともっと沢山の方に来ていただきたいと思いますが、この公園の特性から、私たちが公園の魅力を紹介できるような形で来場していただければありがたいと考えておまして、年間の来場者数の目標を設定するのは困難な状況ではあります。

委員長： 委員もこの緑地を評価しており、保護や保全を継続していく大事さもよく理解されていると思います。一方で、それだけ貴重なものがあるということを知らない市民の方も大勢いるので、これまでの団体の経験を活かして、その点のバランスをどのように取っていくのか、どのように見せるのかなどを提案していただく、考えていただくということが大事だと思います。

それでは、1者の持ち時間である20分が経過しましたので、質疑応答を終了します、お疲れ様でした。

以上で、すべての質疑応答が終了しましたので、ヒアリングを終了します。委員の皆様お疲れ様でした。

それでは、他の委員の方のご意見も参考に最終的な採点をお願いいたします。

委員長： それでは再開いたします。
各委員の採点の集計結果を事務局から報告願います。
順番に行いたいと思いますので、まず笛田公園の指定管理者の結果からお願いします。

事務局： 笛田公園の指定管理者の採点結果は、合計444点、平均点が100点満点で88.8点でした。

委員長： ありがとうございます。合計444点、100点満点で88.8点ということでした。
今回は、特段、何点以上を合格ラインと設定していませんが、合計444点、100点満点で88.8点ということで、「三菱電機ライフサービス(株)湘南支社」を笛田公園の指定管理者の候補者に決定してよいでしょうか。
ご意見があればお願いします。

…………… 異議なし ……………

それでは今回応募された「三菱電機ライフサービス(株)湘南支社」を笛田公園の指定管理者の候補者に決定いたします。

続きまして、「笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者の候補者の決定について」の審議に入りたいと思います。各委員の採点結果の報告を事務局よりお願いします。

事務局： 笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者の採点結果は、合計 434 点、平均点が 100 点満点で 86.8 点でした。

委員長： ありがとうございます。合計 434 点、100 点満点で 86.8 点ということでした。こちらも、特段、何点以上を合格ラインと設定していませんが、合計 434 点、100 点満点で 86.8 点ということで、「公益財団法人鎌倉市公園協会」を笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者の候補者に決定してよいでしょうか。ご意見があればお願いします。

…………… 異議なし ……………

委員長： ありがとうございます。それでは、「公益財団法人鎌倉市公園協会」を笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者の候補者に決定いたします。

続きまして、「鎌倉広町緑地の指定管理者の候補者の決定について」の審議に入りたいと思います。各委員の採点結果の報告を事務局よりお願いします。

事務局： 鎌倉広町緑地の指定管理者の採点結果は、合計 412 点、平均点が 100 点満点で 82.4 点でした。

委員長： ありがとうございます。合計 412 点、平均点が 100 点満点で 82.4 点でした。こちらも、特段、何点以上を合格ラインと設定していませんが、合計 412 点、平均点が 100 点満点で 82.4 点ということで、「鎌倉広町パートナーズ」を鎌倉広町緑地の指定管理者の候補者に決定してよいでしょうか。ご意見があればお願いします。

…………… 異議なし ……………

ありがとうございます。それでは、「鎌倉広町パートナーズ」を鎌倉広町緑地指定管理者の候補者に決定いたします。

それでは、各指定管理者選定における本日の結果を委員長名で書面をもって市長に答申しますので、選定委員会の結果については、すみやかに各応募者に通知するようお願いします。

以上ですべての指定管理者の候補者の選定は終了しました。

最後に各委員から総評をお願いしたいと思います。

B委員： 初めての選定に関わらせていただきましたが、各指定管理者の応募が一者ずつでしたので、アドバイスのことも含めての質問をさせていただきましたが。それぞれの企業の方々魅力的な提案されており、今後が楽しみかなと思っております。自主事業のところでは、もう少し工夫が欲しいと感じたところです。

A委員： 笛田公園、笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者は、これまでやってきた実績が一番評価できるところ、そこを評価させていただいた。鎌倉広町

緑地は、もう少しやれることがあるのかなと思いますので、その点は2者と比較すると評価が低くなりました。

D委員： 自分は、今年、他市の指定管理者の選定にも関わりましたが、鎌倉市の都市公園の指定管理者は、とても素晴らしく感じました。都市公園を大切にしている、指定管理料を無駄にしておらず鎌倉市らしさを実感しました。ベンチとかトイレも丁寧に扱われていると思いますので、その点も含めて採点させていただきました。

C委員： 皆さんのご意見をお聞きして、私の点数は厳しいと思いますが、指定管理者には、やはりもう少し工夫して欲しい点がありました。笛田公園、笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く都市公園の指定管理者は、実績もあり一生懸命やられていることを評価しています。それと比較すると鎌倉広町緑地は、やはりもう少し工夫が必要であると感じました。今後のことは期待しております。

委員長： 私も初めて参加し現地を確認して、応募資料を見させていただき、よく仕事されているなということを感じました。指定管理料であるとか、いろいろな条件が厳しい中で努力されているということがよく理解できましたし、実際に効率的・効果的な仕事をされていると思いました。鎌倉広町緑地は、環境面、自然保護という面もありますが、3者に共通してお伝えしたかったのは、提案には書けないかもしれませんが、来園者の数の視点、今後、どれくらいの方に来園してもらうことがよいのかということ指定管理者として想定してみて、今後の飛躍・発展に繋げていただきたいと思質問をさせていただきました。総体的には非常に良かったと思います。ありがとうございました。

その他事務局から何かありましたら、お願いいたします。

事務局： 本日の議事概要及び総評につきましては、委員長一任ということでお願いしたいと考えておりますが、いかかでしょうか。

…………… 異議なし ……………

委員長： それでは、議事概要及び総評につきましては、私の方で事務局と調整をさせていただきます。

事務局： 確定したものは、各委員へ送付させていただきます。

また、今回の選定委員会の経過等は、必要な事務手続き終了後、本市のホームページで公開させていただきます。

委員長： 情報公開につきましては、採点結果、委員名簿、委員名を非公開にした議事録概要などを公開していくということによろしいでしょうか。

…………… 異議なし ……………

委員長： その他、事務局から何かありましたら、お願いいたします。

都市整備部長： 閉会のあいさつ